

その他の機能と仕様

■その他

キーワード	登録時に自動付与
ファイル情報	プロパティ(サイズ、キーワード数等)の表示
ユーザ設定	ライセンスに応じて人数制限、パスワード管理
ライセンス管理	機器1台ごとのライセンス付与
データベース	SQLite

■対応ファイルとブラウザ

ファイル	Microsoft Word、OpenOffice Writer、Microsoft Excel、OpenOffice Calc、Microsoft Powerpoint、PDF、テキスト文書(拡張子は問いません) ※画像や動画等も含み、他のファイルも管理できますが、キーワード検索のみできません。
ブラウザ	Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome

■購入方法と動作環境

①ホームページからご購入の場合 「Secure文探」、「Secure文探 Light」のいずれかを公式Webサイトからダウンロードすることで、30日間無料でお使い頂けます。無料期間終了後はライセンスキーをサーバー単位で購入することで、無期限で利用できます。ソフトウェアをインストールする推奨動作環境は右記をご確認ください。	サーバー環境	
	OS	Windows 10、Windows 11、Windows Server 2012/2019
	CPU	1.4 GHz 64 ビット プロセッサ 以上
	メモリ	8GB以上を推奨
	ハードディスク容量	管理対象のファイル容量以上

②クラウドで運用する場合 購入手続き完了後にオンラインストレージを構築し、運用開始に必要なアクセス情報をメールでお伝えします。	クラウド環境	
	OS	Windows Server 2019
	クラウド管理会社	さくらインターネット株式会社

③オンプレミス(社内サーバーでの運用)の場合

「Secure文探」、「Secure文探 Light」いずれかの購入手続き完了後、専門のスタッフがお客様の社内ネットワーク環境をヒアリング。社内サーバーに接続して運用するために、ご購入頂いたソフトウェアをインストールしたパソコンを納品します。

*Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

*Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Adobe PDFおよびReaderは、Adobe Systems Incorporatedの米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

*その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。

*記載された内容および製品の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。

「Secure文探」、「Secure文探 Light」のより詳しい情報はこちら！

公式Webサイト

<https://products.itest.co.jp/buntan/>



文探ページはこちら

Secure文探/Light



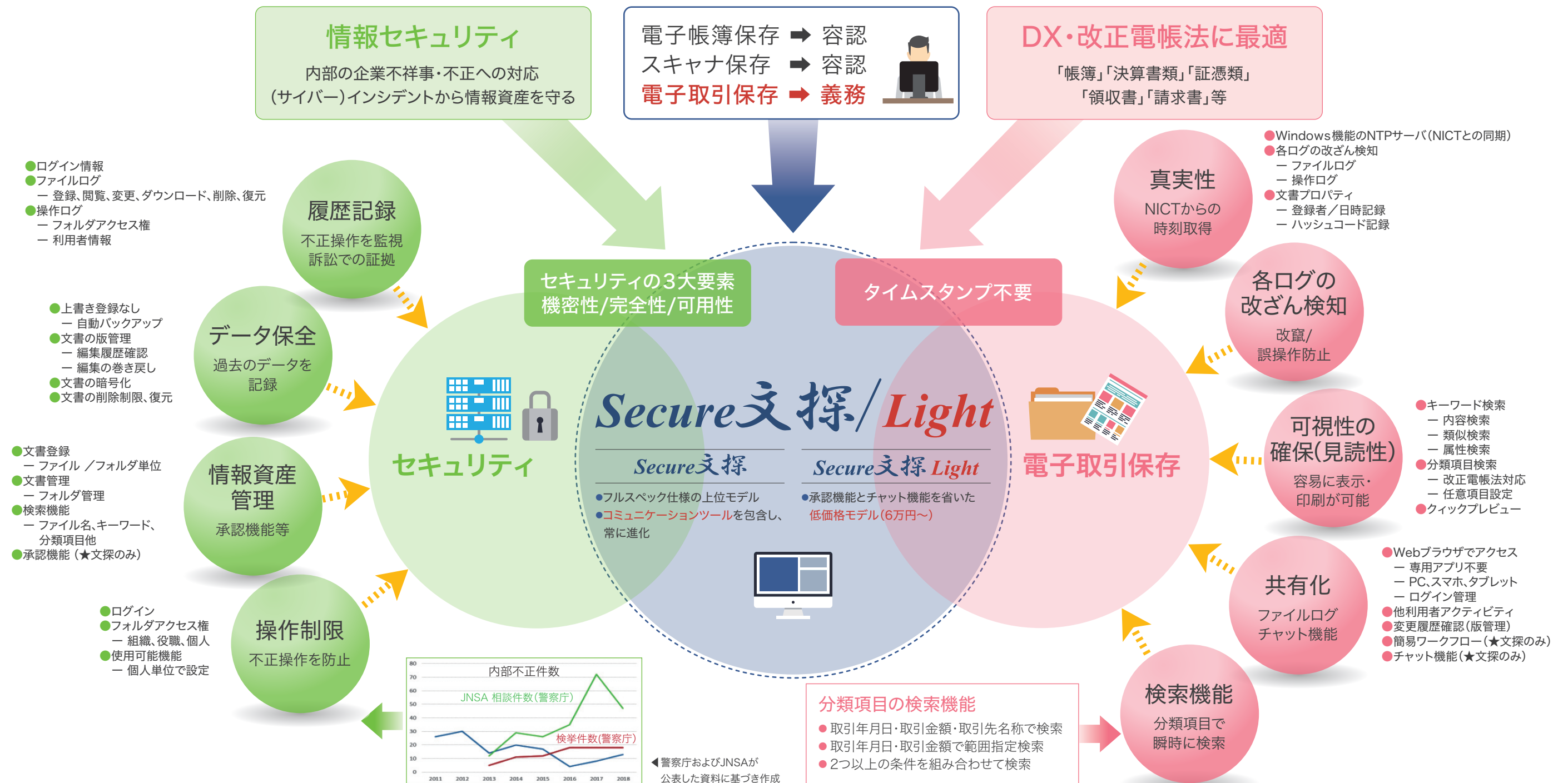
令和3年改正法令基準

この認証ロゴは公益社団法人
日本文書情報マネジメント協会により
ライセンスされています。

- JIIMA※電子取引法的要件認証取得！
- 国税庁ホームページに掲載！国税庁推奨電子取引ソフト！
- 中小企業向け「改正電帳法」に最適の文書管理システム！
- 圧倒的な価格！圧倒的な機能！圧倒的なサービス！
- 売り切りの魅力！フルスペック仕様！

※ JIIMAとは公益社団法人日本文書情報マネジメント協会の略称です。

改正電帳法に最適の進化し続ける文書管理システム



導入のメリット

- ①パソコンのWebブラウザからSecure文探/Lightに文書を登録し、皆で共有できます。
- ②登録した文書から自動的にキーワードが抽出され、Officeファイルのプレビューが作成されるので、素早く検索して内容を表示/確認できます。タブレットやスマートフォンでも利用できます。
- ③同一ファイル名の文書を登録(更新)しても、以前の文書が履歴として保存されます。
- ④文書を暗号化して保存できるので、利用権限のない人物が非正規な手段で文書を取得しても内容を見ることはできません。
- ⑤文書の登録、ダウンロードなどの処理やSecure文探/Lightの各種設定の履歴がログとして確認できるので、適切に文書を管理できます。またログの改ざんを検知する機能も搭載しています。
- ⑥保存期限の設定や登録時期による検索が可能なので、登録文書が増加しても適切に管理、検索ができます。
- ⑦システムの管理者ではなく実際の運用現場の利用者がフォルダ単位でのアクセス権限を設定できるので、部署に応じた柔軟な運用が可能です。
- ⑧メール誤送信などの心配のないチャット機能により、リアルタイムのコミュニケーションを行うことができます。また任意のグループを設定できるので、グループでの情報共有が簡単に出来ます。
- ⑨リモートワークの浸透によりデジタル文書の確認/承認などの履歴を残す必要性の増加に対応し、簡単なワークフロー機能を搭載しています。

⑧⑨の機能はSecure文探のみとなります。

【用語解説】

セキュリティの3大要素：機密性(confidentiality)、完全性(integrity)、可用性(availability)を情報セキュリティの三大要素といい、頭文字をとって、情報の「CIA」などと呼ばれることもある

DX(デジタルトランスフォーメーション)：デジタルによる変容、ITを使って企業活動を優位に変容すること

共有化：組織横断的に統一されたデータを、あらゆる社員が常に共有し、利活用できる状態

可視性：誰もが主要な項目で検索でき、視認・確認できる状態を確保

真実性：NTPサーバ日本標準時(JST)グループNICTとの同期。各ログの改ざん検知で真実性を確保

検索機能：分類項目による文書検索をはじめ、類似文書の検索機能が有り、瞬時に検索できる機能